

# 持続可能な開発目標 (SDGs) 18 若者の平等

国連持続可能な開発目標

国連が定める SDGs (持続可能な開発目標) における第 18 目標の追加提案

若者の未来が不透明なら

世界の未来は持続不可能である



私たちが提案する SDGs 18 若者の平等のアイコン

## 提案するアイコン-概要

**タイトル:** 若者の平等：世界中の若者に資源と機会への公平なアクセスを提供します。若者の未来が不透明なら、世界の未来は持続不可能です。

**色:** 紫は、変化、連帯、強さ、力を表す色として認識されています。私たちの活動はこの色の意味を体現しています。16進コードは#9c48b4です。

**象徴性:** 「平等」と「公平」の意味を区別し、共通の目的のために個人のニーズに基づいて資源を公平に配分することを示します。個人は、すべての性別を含め、ジェンダーニュートラルとして象徴されます。

**範囲:** 私たちは、国連が定める若者の定義（15歳から24歳）を含めることを提案しますが、人口統計学的な範囲として15歳から35歳になるように、35歳未満のすべての人々を含むようにこの範囲を拡大することも望んでいます。

### 目標と指標:

SDGsにおける目標	指標
目標 18 若者の平等を実現し、若者の社会・自然生態系への貢献を高める	
18.1 民間部門や多国間機関を含め、若者のリーダーシップの水準を大幅に向上させるよう努力する	18.1.1 グローバル・アジェンダ設定へのユース・オフィスの参加率 18.1.2 管理職に占める若年層の割合 18.1.3 (若者) 団体への児童・若者の参加率 18.1.4 若者団体の割合 (親団体と比較して) 18.1.5 役員に占める若者代表者又は若者の割合 18.1.6 世界的、国家的、地域的に若者の支持者であると自認する人々の割合
18.2 法律や政策の策定において、世	18.2.1 (a) 国際機関、 (b) 各国議会、 (c) 地方自治体に

<p>界、国、地方レベルで若者の代表を大幅に増やす</p>	<p>おける若者の議席割合</p> <p>18.2.2 若者の支持者によって作成および/または導入された法律の数</p> <p>18.2.3 若者の政治的・非政治的関与を促進する法律や規制がある国の数</p> <p>18.2.4 (国際的、超国家的、および/または国家的) 諮問委員会および/または代表団における若者の割合</p>
<p>18.3 将来にわたって複数の世代に影響を与える意思決定の結果として、持続可能な環境を保護・保護するための取り組みを強化する</p>	<p>18.3.1 若者の平等と第7原則を追跡し、公的配分を行うシステムを持つ国の割合</p>
<p>18.4 すべての若者が、関連性のある効果的な学習成果につながる、対人関係の発展に普遍的にアクセスできるようにする</p>	<p>18.4.1 以下について自信のある子供や若者の割合</p> <p>(a) 社会的感情学習 (SEL)、すなわち、肯定的アイデンティティ、自己管理、(学問的) 自己効力感、社会的スキル、社会資本</p> <p>(b) 技能と若者のリーダーシップの育成</p>
<p>18.5 資金、投資、融資、オプションを含む、金融リテラシーと独立銀行へのアクセスに関する若者の訓練を大幅に増やす</p>	<p>18.5.1 過去12か月間の若者および正規・非正規の金融教育・訓練への参加率(男女別)</p> <p>18.5.2 性別による、機能的な (a) 金融リテラシーおよび (b) 金融計算能力において、少なくとも一定レベルの習熟度を達成している特定の年齢層の人口の割合</p> <p>18.5.3 (a) 国の教育政策 (b) 教育課程 (c) 教員育成 (d) 生徒評価において、(i) <a href="#">地球市民金融リテラシー教育</a> (ii) <a href="#">金融持続可能な開発のためのマネジメント</a>教育がどの程度主流化されているか</p> <p>18.5.4 経済的困難に当てはまる若年層の割合</p> <p>18.5.5 金融に関する意思決定は包括的で即応性があると考えられる若者の割合(性別、年齢、障害、人口グループ別)</p>
<p>18.6 若者と子供のためのインターネット上の普遍的で安全な環境を作り、確保するための強制力のある法律を採択する</p>	<p>18.6.1 安全と感じ、インターネット上でデータが保護されている人口の割合</p> <p>18.6.2 過去12ヶ月間に (a) サイバー暴力、(b) 心理的暴力、(c) 事実上の性的暴力、(d) サイバー暴力から発生した身体的暴力を受けた人口の割合</p>

	<p>18.6.3 インターネットガバナンスを専門とする独立した人権機関の存在</p> <p>18.6.4 プライバシーとデータ保護を含むインターネットの安全性を追跡し、公開割り当てを行うシステムを持つ国の割合</p>
--	---

## 前文



私たちは無数の地球規模の課題に直面しています。これは私たちの世代とこれからの世代が生涯にわたって負担することになる課題です。COVID-19のパンデミックに伴い「失われた世代」とも呼ばれる世界の若者層の人口増加が進んでいますが、データによると、今後2020年から2050年にかけて、15歳から24歳までの年齢層は約11%増加する<sup>1</sup>とされており、若年層のニーズに応える必要性が高まっています。

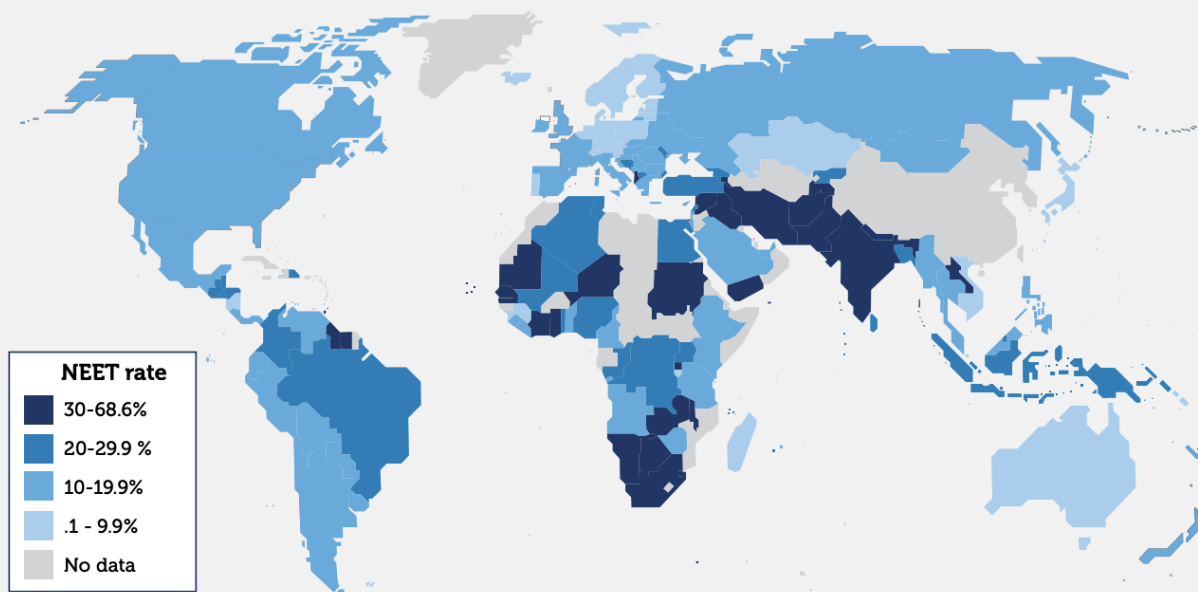
若者人口の増加に対する前向きな予測にもかかわらず、現在および将来の生計の安定性は依然として不透明です。私たちは、経済の大変動、社会の分断、政情不安、そして気候危機の継続的な差し迫った脅威の中で、教育と労働力の導入の全盛期を過ごしています。雇用、教育、訓練を受けていない若者の割合（ニート）は持続的であり、次の世代が完全に成長する能力を妨げています。この不平等<sup>2</sup>を簡単に強調すると以下のとおりです。

<sup>1</sup>World Youth Report 2020

<sup>2</sup>World Youth Report 2020

- 5人に1人の若者が教育や仕事を通じて生活技能を身につけていません。
- 世界のニート率性別集計:若者のうち女性30%、男性13% (ILO 2019年)教育や仕事を通じて生活技能を身につけていません。
- すべての国のデータが入手できないため、若者のニートは未だに過小評価されています。

図表6 若者ニートの割合、直近の推定に基づく  
(2000-2018)



Source: DESA, based on ILOSTAT, country profiles.

The boundaries shown and the designations used on this map do not imply official endorsement or acceptance by the United Nations.

上記の統計は、世界中の若者が経験している現実の状況を垣間見せるに過ぎません。今日の私たちの行動が私たちの将来の状況を左右するように、私たちは、なぜ若者が、彼らに最も影響を与える差し迫った未来についての世界的な議論への貢献に対して優先されたり、評価されたりしないのかを問わなければなりません。

若者は、前の世代に必ずしも当てはまらないように、将来の世界的な状況を守るためにユニークに団結しています。テクノロジーとデジタル化によ

---

って促進されたグローバリゼーションは、知的および情動的拡散の手段として機能しており、これは間違いなく現代で最も成功した人間のイノベーションです。この前例のない新しい視点や生きた経験に触れることで、私たちは比類のない巨視的な共感を育んできました。私たちは、グローバル化されたコミュニティへのこの統合が、グローバルな課題と権限を設計するために必要な視点であるグローバルな市民的責任の説得力のある感覚を与えてくれたと感じています。

グローバルな解決策を開発するためのこの 10 年間の行動が進展し続ける中で、私たちは後世を優先することが不可欠です。若者は社会において常に重要な役割を担ってきており、共同繁栄を実現するためには若い世代の行動がこれまで以上に必要とされています。

## 私たちの提案

国連の持続可能な開発目標（SDGs）は、国際的な目標設定を促進することに加えて、世界における物質的な課題を特定するための不可欠な枠組みを提供するものです。私たちは、人類の未来のための私たちの将来へのコミットメントの象徴として、私たちの前に立ちはだかるすべてのグローバルな課題を包含するものとして、新たな持続可能な開発目標「SDGs 18 若者の平等」の追加を提案します。

Global Futurist Initiative は、他の若者の組織の共に努力するとともに、「SDGs 18 若者の平等」を、現在および今後のグローバルな目標として採択可能な概念とするための変革をもたらすベンチマークを探し、特定してきました。しかし、私たちの運動を可能な限り有意義なものにすることを目的として、SDGs 18 若者の平等の適用につながる枠組みに従うことのみ

に焦点を当てています。

若者の状況は、世界中のさまざまなコミュニティ、国、地域によってそれぞれ異なります。私たちは、最も変革的なアクションが、同様の運動を中心にして世界の若者コミュニティを団結させることによって実現できると信じていますが、そのアイデアは、対象となる人々の開発に最も役立つという事実で結実します。私たちは SDGs 18 若者の平等への基盤の概要を説

---

---

明していますが、目標の適用可能性を構築することは利害関係者に委ねています。さらに、このアプローチは、世界的な動きの重要な始まりである小規模な変化に拍車をかけると考えています。

目標と指標の開発は、この提案で概説されているテーマを追加または除外することで、私たちの枠組みに従うことができます。測定可能な目標の構築に関しては、若者のコミュニティの違いを理解するためのカバレッジとデータの欠如を認識しています。そのため、地域の利害関係者の関与を活用して、調整された目標や目標を立案することが、変化を生み出す最も建設的な方法になると考えています。同じ若者として、私たちは規定するのではなく、若者の成長を導き、援助することを望んでいます。

私たちの価値提案は、これまでの若者についてのマニフェストのテーマを含む以下の理想に焦点を当てています。

- **利便性 (Accessibility)** : 若者が公平なアクセスを得て、質の高い生活に不可欠な資源を利用できるようにする
- **包括性 (Inclusivity)** : すべての若者とそれぞれの条件が世界的な議論で説明されることを保証する
- **説明責任 (Accountability)** : 若者とのすべての取り組み、仕事、努力、運動に説明責任と率直さがあることを保証する
- **権限委譲 (Empowerment)** : 若者が権力を構築し、声を高める能力を与えられるようにする

## 2030

若者の平等は、現在、適切な代表性と認識が欠如しているすべてのグローバルな課題における不可欠な部分です。増大する課題により危機に瀕した世界で若者が成長しているため、グローバルな目標設定と解決策の構築は、若い世代にもたらされる結果を考慮に入れなければなりません。このため、この目標を現在の国連の17項目の持続可能な開発目標の範囲で実施することを提案しています。

---

---

## ポスト 2030

SDG 18 若者の平等の目標と理想は、2030 年以降も拡大し、人類が達成するための一貫した課題と努力となります。世代間の生活の質の違いは、世界中のすべてのコミュニティや国にとって、常に変化する原動力となるでしょう。私たちは「時間的正義 (temporal justice)」と呼ばれるものを実行するために努力しており、他者の未来を守るために私たちの未来を守っています。

期限である 2030 年を超えて構築された目標は、国連が概説した当初の目標と本質的に類似していることが不可欠です。それは、測定可能で強制力のある、ローカルに適用可能かつグローバルに野心的であるという中間的な目標を兼ね備える必要があります。

### 柱・目標・指標

幅広い研究を行った上で、世界の若者が直面している現実的な状況を反映し、多次元的な SDG 18 若者の平等を提案します。

SDG 18 若者の平等の幅広さから、この目標を世界の若者にとっての平等 (EQUITY) の意味を構成する 6 つの柱に分類しています。





- A. 環境の恩恵にあずかるものの責任 (スチュワードシップ)
- 環境正義 - 交差性
  - 気候変動に関する活動
  - 生物多様性と保全 (陸生、海洋性)
- B. 生活の質 (QoL)

- 
- a. 教育
    - i. すべての年齢のすべての若者に、初等・中等教育への平等なアクセスを確保する
  - b. 雇用創出
  - c. トレーニング
  - C. 社会基盤の統一的な利用機会
    - a. 健康と安全
      - i. 衛生
      - ii. 飲料水
    - b. 金融サービス
    - c. 公共サービス
      - i. データ
      - ii. 地域社会的な権利
  - D. 対人関係の発展
    - a. 社会的・情動的学習 (Social Emotional Learning)
      - i. 肯定的な自己認識
      - ii. 自己管理
      - iii. 自己効力感
      - iv. ソーシャルスキル
      - v. 社会資本
    - b. 若者の育成プログラム
      - i. 若者のリーダーシップ育成
      - ii. スキルとリーダーシップの育成<sup>3</sup>
    - c. ユニバーサルアクセス
    - d. サイバーセーフティ
      - i. メンタルヘルス
      - ii. プライバシーの問題
      - iii. データ
    - e. デジタルスキル
  - E. 若者のエンゲージメント
    - a. 必須リソース

---

<sup>3</sup>[https://www.youthpower.org/sites/default/files/YouthPower/resources/Brief\\_4\\_FINAL\\_edited\\_2-17%20pdf.pdf](https://www.youthpower.org/sites/default/files/YouthPower/resources/Brief_4_FINAL_edited_2-17%20pdf.pdf)

---

- 
- i. 若者代表としての必須条件を確保(諮問委員会や擁護団体を通じて<sup>4</sup>)
  - b. 能力構築
    - i. 若者のエンゲージメントのための短期的および長期的なエンゲージメントの機会を促進<sup>5</sup>
  - c. 維持構造
    - i. 若者の組織の自主性強化に向けた世代間交流の推進<sup>6</sup>

各柱は、それぞれの指標を持ついくつかの目標で構成されると考えています。

若者がこの前向きな枠組みを構築する中で、私たちはこの文書と変化の象徴を協力とさらなる関与のポイントとして使用することを望んでいます。したがって、以下に提案されている資料は動的なものであり、私たちのイニシアティブは、若者活動家、草の根ネットワーク、組織、政府機関を含むがこれらに限定されない、若者からの可能な限り多くのインプットを含めることを目指しています。

-----  
-----

---

<sup>4</sup> <https://youth.gov/youth-topics/TAG/game-plan/approaches>

<sup>5</sup> [https://www.youthpower.org/sites/default/files/YouthPower/resources/Brief\\_4\\_FINAL\\_edited\\_2-17%20pdf.pdf](https://www.youthpower.org/sites/default/files/YouthPower/resources/Brief_4_FINAL_edited_2-17%20pdf.pdf)

<sup>6</sup> <https://safelaskans.org/wp-content/uploads/2018/12/Youth-Leadership-Toolkit-National-Resource-Center-for-Youth-Development.pdf>

---

---

補足

- A. 国連の持続可能な開発目標の相互関連性に関する追加情報については、[こちらの記事](#)を参照してください。本記事による情報は、SDG 18 若者の平等をさらに発展させるための私たちのアプローチに貢献しています。

Global Futurist Initiative によるコンテンツ

---